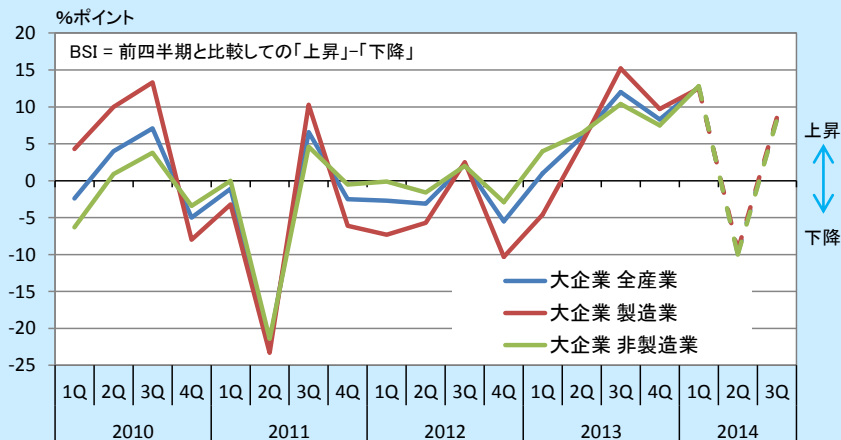


## 日本：法人企業景気予測調査（2014年1-3月）

MRI Daily Economic Points  
March 13, 2013

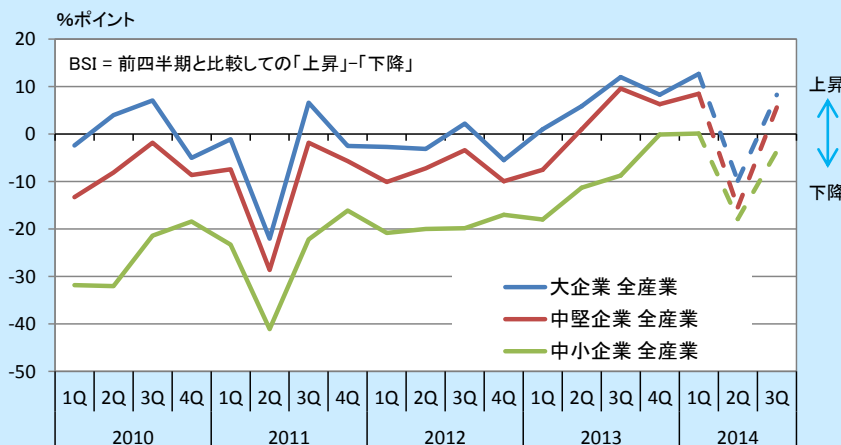
図表 大企業の景況判断BSI



資料：内閣府・財務省「法人企業景気予測調査」

点線は見通し

図表 企業規模別の景況判断BSI



資料：内閣府・財務省「法人企業景気予測調査」

点線は見通し

## 評価ポイント

## 今回の結果

- 2014年1-3月期の景況判断BSI(Business Survey Index)は、大企業全産業が、2004年の調査開始以来最高となる+12.7%ptと高い水準を示し、5四半期連続の改善となった。内訳をみると、製造業が+12.5%ptと4四半期連続の改善。非製造業が+12.8%ptと5四半期連続の改善。
- 大企業の景況判断BSIを業種別にみると、幅広い業種で「上昇」超となった。自動車・同附属品が消費増税前の駆け込み需要により堅調なほか、はん用機械、生産用機械、業務用機械、電気機械の改善が目立った。
- 先行きをみると、大企業は、製造業・非製造業ともに、4-6月は消費税増税により「下降」超となるが、7-9月には「上昇」超に復する見込み。消費税増税による影響は比較的短期にとどまると見ている模様。
- 企業規模別にみると、中堅企業が+8.5%pt(10-12月調査時:+6.3%pt)と上昇幅が拡大。2004年の統計開始以来、常にマイナスで推移していた中小企業は、+0.1%pt(10-12月調査時:▲0.1%pt)と初のプラスに転じた。中堅・中小企業へも景況感の改善が波及してきている。
- 計数項目の設備投資(ソフトウェアを含む、土地を除く)をみると、全規模全産業の14年1-3月の実績見込みは、前年比+13.8%(10-12月調査時:同+12.1%)と上方修正された。

## 基調判断と今後の流れ

- 企業の景況感は、幅広い業種で改善している。先行きは、消費税増税の影響から14年4-6月に一時的に落ち込みはするものの、落ち込みの長期化は予想されておらず、影響は短期にとどまるとみられる。7-9月以降も企業の景況感底堅く推移するであろう。